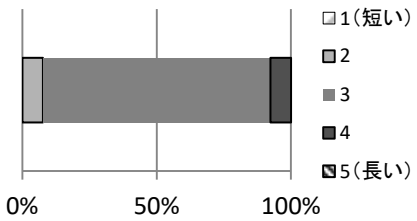
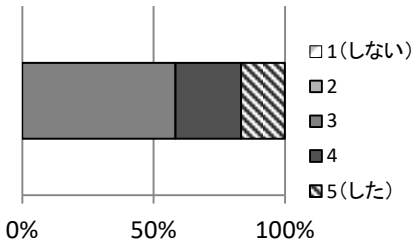
出張医学教育FD
（富士見高原病院）

【日　　時】 令和元年　10月7日(月)
【参加人数】　19名
【講　　師】 多田　剛
【内　　容】 参加型臨床実習のすすめ方

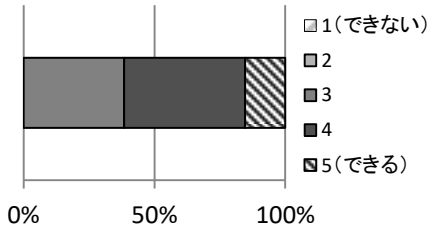
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

FDでわかったこと	FDで疑問に残ったこと	ご意見
学生の教育目標が変わったということ	概ね理解しました。	competency目標が学生にしては極めて高いと思いますが、（例えばコミュニケーションや研究など）これに応じた教育の進化はあるのでしょうか？
型にはめずに自由に振り返り、評価を行ってよいこと	当院での教育がどう影響しえたかをどのようにしてfeedbackされるかがよくわかりません。	大学や学生さんが当院の特性をふまえて、何を期待されるかを提案でよいので教えていただきたい。
行動レポートの意味	ポートフォリオ？	
病棟で任務を与え、やってもらう。 遠慮せず評価する。	やらせていいことダメなこと （まぁ全部やってもらってますが）	いつもありがとうございます。お誘い頂ければギターもって学生スキー行きますので。
レポートについて	今まで受けた教育	
医学教育コンピテンシーという内容が具体的に分かりました。	特にないです	
よく理解できた	特にありません	
チームの一員として参加することの重要性がわかりました。	行動レポートの詳細について	
学習レポートが症例報告とちがうこと 行動レポートが大切なこと		参加型の実習にできたらと思います。
学生さんへの今風の接し方	えっと信大からくるのかなくるのかなくるのかな？？？と思ってしまい、話に集中しづらかった。	いついらっしゃるんでしょうか。